

マツ枯れ注意報！早急な対策を！

今年は富山県内(特に射水市内)でマツ枯れが多く発生しています。枯損木の放置により、さらなる拡大が懸念されるため、大切なマツには早急なマツ枯れ対策が望まれます。

射水市内では、昨年度(2019年度)より海岸線にてちらほらとマツ枯れによって枯れたと思われる個体が見られていました。今年度のマツ枯れ拡大の一つの要因として、昨年度の枯損木を放置していたことが挙げられます。

マツの枯損木は、マツノマダラカミキリにとって絶好の繁殖場所です。マツ枯れの原因となるマツノザイセンチュウは、自らマツからマツへ移動することはできません。しかし、枯損木を繁殖に利用しようとやってくるマツノマダラカミキリの体に乗れ、新たなマツへと広がっていきます。

現在、射水市内では、マツ枯れによって枯れたと思われる多数の枯損木が確認されており、それらを一気に処分することは難しいことが予想されます。このまま枯損木が放置された場合、今後はマツ枯れのさらなる拡大が懸念されます。

マツ枯れ対策としては、マツノマダラカミキリに対する防除(春～夏ごろに殺虫剤散布)とマツノザイセンチュウに対する防除(冬期間の樹幹注入剤等)があります。

樹幹注入剤の施工適期は12～2月の冬期間です。枯らしたくない大切なマツがある方は、この冬、樹幹注入剤を施工して、春以降の感染拡大に備えましょう。

県内のマツ枯れ発生現場(9～11月撮影)



◀▼海岸林



▼海岸沿い道路



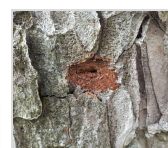
集団的な枯れ



▼企業緑地内



幹を観察すると…
マツノマダラカミキリによる



産卵孔



脱出孔



A HAPPY NEW YEAR!

製品紹介

グリーンガード・NEO

7年の効果持続期間



- 樹幹注入材の中でもトップシェアの実績を誇る「グリーンガード」シリーズ
- 「グリーンガード・NEO」は、従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工できます。
- 樹体に直接注入するので、ドリフト（飛散）などの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は7年間持続します。

- 内容成分：酒石酸モランテル 20%
- 毒性：普通物
- 包装：90ml/本、50本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生3ヶ月前まで

使用量	
胸高直径（樹幹部）	薬量
10～15cm	90ml
15～20cm	135ml
20～25cm	180～270ml
25～30cm	270～360ml
30～35cm	360～450ml
35～40cm	450～540ml

※病気などで弱っている松へのグリーンガードの施工は不適です。

※すでにマツ材線虫病に罹患しているマツには、施工しないでください。

※剪定されている庭園のマツに対しては、通常の使用量の6割程度で施工してください（薬害の恐れ）。

※剪定されている庭園のマツには、グリーンガード・エイトがおすすめです（予防効果6年間持続）。

※40cm以上は5cm増すごとに
0.5～1.5アンプルを順次増量

ネマバスター

マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除



- マツの周りに土壌灌注処理する薬剤で、マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除できます。
- 浸透移行性にすぐれ、有効成分は根系から樹体内に速やかに吸収移行し、マツノザイセンチュウの運動を阻害、増殖を阻止します。
- 樹幹注入剤ではないので、マツの樹脂量に左右されずに処理ができます。
- 庭園松等の、強く剪定されたマツに対しても使用できます。
- 効果の持続期間は、現在のところ1年まで確認しています。

- 内容成分：ホスチアゼート（PRTR・1種）30.0%
- 毒性：劇物
- 包装：1L/本、4本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期	希釈倍数	使用液量	使用方法
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生2～3ヶ月前まで	50倍	樹の胸高直径に応じて 5～1cm 6L 10～15cm 8L 15～20cm 12L 20～25cm 18L 25～30cm 26L 30～35cm 38L 35～40cm 52L 40cm以上では直径5cm 増すごとに18～30Lを順 次増量	土壌灌注
せんりょう	ネグサレ センチュウ	生育期	1000倍	0.5 L/株 (ただし2.5 L/m ² まで)	株元灌注
樹木類		移植前		—	10分間 根部浸漬

取扱い・お問合せは—